

第60回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

平成28年11月2日（水）18：30～20：00

伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 19人

3 会議内容

(1) 「話題の本で話そう」（らしーく）

内 容

- ・題材とする本が「キャリア教育のウソ」（児美川孝一郎 著）に決まった。
- ・現代の子どもや若者の親世代は終身雇用・年功序列型賃金という日本的雇用のもとでキャリア設計をしていたが、その固定観念が子ども達の生き方をせばめることも。
- ・「出世すること＝キャリア設計」という狭い考え方にとらわれないように導きたい。

意 見

- ・高校生や就活中の大学生をターゲットにして、春休み中に開催してはどうか。
- ・いわゆる「すごい人」ではない普通の社会人が参加することで、高校生もリアルな人生設計を考えることができるのでは。
- ・主婦や高齢者など無職の人も含めていろんな職業の人が参加してくれるといい。

(2) 「図書館の流通事情」をテーマにしたセミナーまたはトークイベント

内 容

- ・出版社と書店や図書館の間の取次ぎ・卸売を担う仕事をしているので、「図書館の流通事情」をテーマにしたセミナーやトークイベントを開催したい。

- ・図書館の存在をあからさまに嫌う出版社もあるが、「露出によるいい効果もあるのではない
か。図書館は書店の敵ではないのではないか」という切り口で進めたい。

意 見

- ・守備範囲の狭いテーマなので、一般の人が興味を抱いてくれるようなきっかけがいる。
- ・過去に、市内書店による「図書館と書店は共存できるのか」というテーマのトークイベント
をことば蔵でしたことがあるが、帯ワングランプリの表彰式の流れで開催したため参加者
をつかめた。
- ・例えば「本ができるまで」「執筆された本が（消費者の）手元に届くまで」というような
テーマの方が興味を持ちやすいのでは。

今 後

- ・12月に同じようなテーマで開かれるセミナーに参加するので、それを元に練り直したい。

(3)「障がい者のことを理解しよう」イベント企画の経過報告

内 容

- ・1日目は社会福祉協議会と一緒に障がい者・高齢者体験をしてもらうイベントを実施する。
- 2日目は、言友会の会員である言語聴覚士の講座や相談会を実施する。

意 見

- ・暗闇体験は、慎重に安全対策を講じた方がいい。
- 暗い部屋での体験は無しにして、交流フロアで点字ブロックの上を歩くなどの代替案を
考えたい。
- ・今回が初めてのイベントなので、内容はシンプルな方がいいのでは。
- ・相談会をするのであれば、パーティションや別部屋を用意するなどの配慮が必要。

4 次回の運営会議

平成28年12月7日（水） 18：30～ 伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア